

平成30年 第2回

2月14日(水)

(通算336回)

# 桶狭間古戦場めぐり

2月14日 (水)	桶狭間 古戦場	有松駅 …… 高根山(有松神社) …… 釜ヶ谷(信長軍) ……	名鉄有松駅
		… おけはざま山 …… 古戦場公園(今川義元討死の場所) ……	
		… 瀬名氏俊陣跡 …… 長福寺(義元的首検証) ……	
		… 井伊直盛陣跡 …… 戦評の松(桶狭間寺前) == 有松駅(14:00頃)	
		《 アップダウン有り 》	
		<・歩行距離:5.0km ・所要時間:3時間30分 ・交通費:910円>	10時00分
名鉄 急行豊川行	名鉄名古屋	—— 鳴海(乗換) —— 有松	
	9:29	9:45/9:49	9:53

歩数	9,500	累計	#REF!
----	-------	----	-------

名鉄有松駅に集合。参加者13名、今回から参加となる小椋さんを参加者に紹介してから10時にスタートする。旧東海道を横切り、急な坂道を登り10分程歩き、織田軍の動静を監視した今川軍の陣地が置かれた「高根山」に到着。ここから現在は鳴海の街並み、その先には名古屋駅地区のビル群が遠望できる。次に織田軍の本体が潜んだ「釜ヶ谷」に到着、ここは現在「桜花学園大学」になっている。ここから愛知用水の下を潜り、坂を上がり今川軍の本陣が置かれた「おけはざま山」へ、現在は住宅街の真ん中に位置している。坂を下り桶狭間の戦いの中心地で今川義元最後の地、「桶狭間古戦場公園」に着く。何かのイベントが終わったのかマスコットキャラクターの「おけわんこ」とスタッフの集合写真を撮っていたので、我々の記念写真に「おけわんこ」に入れてもらう。ここで昼食休憩。イベントに参加していたボランティアガイドの方に声を掛けられ古戦場を巡られるなら案内をしましょうかと言われ、案内をお願いする。「瀬名氏俊陣地跡」、織田軍が首実験をした「長福寺」、今川軍の瀬名氏俊が戦評を行った「戦評の松」、女城主直虎の父「井伊直盛陣地跡」を案内してもらう。ここでガイドさんと別れて有松駅まで歩く。旧東海道を面して建つ「絞り会館」の中にある喫茶店でコーヒータイム30分程歓談した後解散する。



桶狭間古戦場公園にて



# 桶狭間古戦場めぐ

至名古屋

至鳴海

## 4 おけはざませんじょうこうえん でんがくつぼ 桶狭間古戦場公園 [田楽坪]



桶狭間の戦いの中心地で、田楽坪とも言われ、今川義元最期の地です。「信長公記」によると、義元が討ち死にした所は、深田の傍らの低地と言うことです。信長の襲撃を受けた今川軍は、旗本300騎が義元を真中にして応戦しましたが、しだいにおけはざま山の西の深田際まで押され、ついに義元は討ち取られました。公園内には、「駿公墓園」の墓碑があり、毎年戦死者の慰霊祭を行っています。このほかに、「馬糞ぎの杜松(ねず)の木」、「首洗いの泉」跡などがあります。桶狭間の戦い450年を機に信長、義元両雄の銅像が建立され、当時の地形を模したジオラマ公園として整備されました。



桶狭間古戦場公園



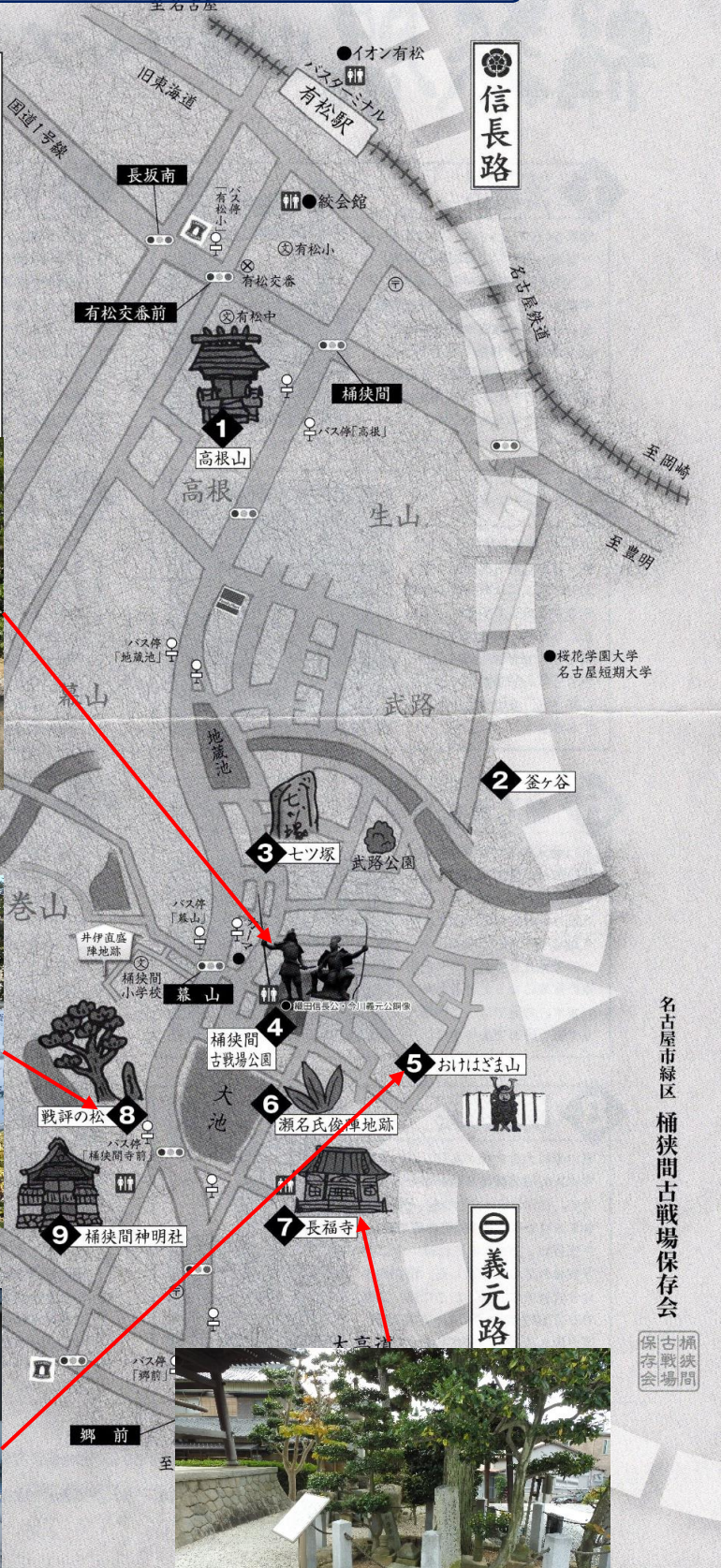
戦評の松



おけはざま山



長福寺・首実見の場



名古屋市長区 桶狭間古戦場保存会

桶狭間古戦場保存会